

2025年1月26日(日)第四主日礼拝

ルカの福音書7章18—35節

『おいでになるはずのお方』

序論:

- バプテスマのヨハネはなぜ、牢獄に入れられていたのですか。
- バプテスマのヨハネはなぜ、イエスさまのもとに二人の弟子を送り出したのですか。

本論:

1. イエスにつまずかない者は幸いである

- ①21、22節は、イエスさまがどのようなお方であることを教えていますか。
- ②イエスさまに「つまずく」とは、どういうことですか。
- ③イエスさまはなぜ、ヨハネに「事実」だけを示されたのですか。

2. 神の御心を受け入れる者は幸いである

- ①24節の「あなたがたは何を見に荒野に出て行ったのですか。」とは、どういうことですか。
- ②「イエスさまは、バプテスマのヨハネについて、どのように評価していますか。
- ③「神の国で一番小さな者」とは、どのような者のことですか。

3. 「知恵」の子として歩む者は幸いである

- ①「この時代の人々」とは、どういう者のことですか。
- ②パリサイ人たちや律法の専門家たちは、ヨハネや、イエスさまのことをどのように言いましたか。
- ③「知恵」の子らとは、どういう者のことですか。

まとめ:

あなたは今日のメッセージから何を教えられ、どんな決心をされましたか。